温泉下林地区の『復興まちづくりのイメージ案』について ~第3回懇談会の意見概要②~

黄色網掛け箇所が第3回懇談会の参加者の主な意見です。(※決まった内容や事実確認をした内容ではありません)





〒868-8601 熊本県人吉市下城本町 1578-1 Tel:0966-22-2111(内線:8893) Fax:0966-24-7869

E-mail:fukkousien@hitoyoshi.kumamoto.jp

これらに関する情報は、市ホームページにも掲載しています。ホームページをご覧になれない人はお問い合わせください。

地区別懇談会だより

Vol.2

温泉下林地区

~みんなで取り組む、人吉市の復興まちづくり~

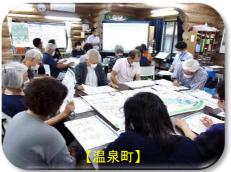
『地区別懇談会(第3回)』を開催しました

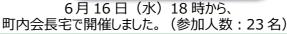
甚大な被害や治水対策による影響が大きいなど、**地区でまとまって問題解決に取り組む必要性の高い地区を「重点地区」**として位置づけ、それぞれの地区ごとに**「地区別懇談会」**で話し合いを進めています。

温泉下林地区の対象地区は、下林町、中林町、温泉町です。

◆第3回地区別懇談会

- 1 地区の復興まちづくりに向けての参考資料の説明
 - ・地区別懇談会の振り返りと情報提供
 - ・懇談会意見を踏まえた復興まちづくりの方向案、イメージ案と参考事例について
- 2 地区ごとの話し合いと全体共有
 - ・復興まちづくりの方向案(課題、取組方針、具体の取組み案)について
 - ・復興まちづくりのイメージ案について
- 3 今後の進め方と次回日程の調整







6月16日(水)18時から、 中原コミュニティセンターで開催しました。(参加人数8名)

懇談会の進め方について ~復興まちづくり計画の策定に向けて~

地区別懇談会での検討をもとに、具体的な復興まちづくりの取組を「復興まちづくり計画」に反映していきます。

◆地区別懇談会の参加方法

・対象地区にお住まいの方や勤務されている方など、どなたでも参加できます。

※可能な範囲で、継続的な話し合いに参加いただきます。

・参加申込は随時受け付けておりますので、本紙面末尾の復興支援課までお問合せください。 多くの方のご参加をお待ちしております。

◆地区別懇談会の進め方

・7~9月の間に、概ね月1回(3~4回程度)の開催を予定しています。

次回の開催予定: 第4回7月8日 (木) 18時より

温泉町会場:町内会長宅 (下林町・中林町は別途日程調整)

次回のテーマ予定:復興まちづくりの具体的イメージや手法案について

◇復興まちづくり計画とは

- ・復興計画を実現するために取り組むべき内容を検討・整理したものです。
- ・特に被害の大きい特定地域(重点地区)などを対象に、各地域の具体的な計画づくりを行います。
- ・住民主役の計画づくり(策定主体は主に住民)に対して、行政が支援し、計画策定をめざします。
- ・計画期間は、令和4~9年度の概ね6年間。(令和3年度からの一部実施も想定)

参加募集中

□は方向案の柱、<mark>赤字</mark>は事務局側での記載事項です。 <mark>黄色網掛け箇所</mark>が第 3 回地区別懇談会における参加者の主な意見です。(※決まった内容や事実確認をした内容ではありません)

意見集約のキーワード (復興計画の3つの柱)	地区の主な課題 (地区の復興まちづくりに向けた主な課題)	取組み方針 (課題解決のための取組み方針の柱)	具体の取組み(案) ※実現化に向け、今後検討が必要
①被災者のくらし再建と コミュニティの再生 【住まい再建】 【コミュニティ再生】	□住まいの再建にあたっての方向性が必要 ・被害を受けた所は平等に支援があるようにしてほしい。 □集会所とコミュニティの再生が必要 ・直売所の運営により、顔が見える関係性を構築してきたが、運営側が高齢化している。助け合いながら続けたい。【下林・中林】 ・公民館以外のコミュニティの場として、デイサロンや直売所などがある。【下林・中林】 ・グラウンドゴルフや運動会など町会対抗スポーツ大会やお祭りなどの行事が多くある。【下林・中林】	 【課題解決のための取組の方針の任】 住まいの再建における安全性の向上 ・既に再建している家もありまちづくりが動いている。発災後1年経つ今から決めてできるのか?市の動きが遅い。発災3ヶ月後ぐらいに、皆が動く前に具体的な方針を示しておくべきだった。今からは、球磨川に浸水させない人吉づくりに重点を置くべき。【温泉町】 「集会所の再建とコミュニティの再生 ・何十年と培ってきた温泉町のコミュニティを復旧して欲しい。温泉町のメインは温泉。いち早く復旧して欲しい。老人福祉センターの施設を直した上で、地元で運営できないか。温泉町町内会で指定管理者になれないか。次回、担当課にも来て欲しい。どうすればできるか。【温泉町】 	□安全性を高める建て方の誘導 ・ やるのであれば地区全体に 5 m以上は嵩上げする必要があるが、非現実的。【温泉町】 ・ 嵩上げや移転などに対する公的助成はあるのか ? ・ 沢を埋めるのは危険。尾根は削って良い。地形をしっかり見分けるべき。 ・ 個人的には土地の嵩上げも堤防の嵩上げも無理だと思う。 ・ 皆で考えるのは有難いが、時間もお金もかかる。できない事ばかりに見える。次に何かあれば他所へ脱出する。 □ コミュニティの核としての集会所の再建 ・ 世帯が減っている。迷っている人もいる。知らない情報も多い。できるだけ情報開示をしてほしい。・ ピロティ構造にしていたが浸った。油断していた。それぞれの現実をふまえて。 ・ 身近に情報を提示して欲しい。一部の地域だけ恩恵を受けるのではなく平等に。 ・ 公民館の再建。【下林・中林】 [改修済: 下林前村町会、下林仮屋町会、中林町会】[改修中: 下林後村町会] (上林町会は被害なし) ・ 今後も様々な行事を継続していくことで町内のつながりを深める。【下林・中林】
②力強い地域経済の再生 【生業再建】	□地域の温泉と観光の再生 ・一番泉質が良い。【温泉町】 □早急な農地の再生 ・農業者が高齢化し、集まって話ができない。 現状復旧しかできず、営農できない。【温泉町】	□観光資源である"温泉"を活かしたまちづくり □農地の再生による生業の再建 ・農業関係の用水路等に残るがれき等はさらってほしい。【温泉町】	 ・老人会を設立し、新たな行事も行う。【中林】 【観光資源としての温泉の復活 農地の再生 ・30 町歩で協力して田んぼダムを進めてはどうか。小さいことから解決する。【温泉町】
③災害に負けない まちづくり 【避難対策】	□安全な避難ルートの確保 □避難施設の確保・改善 □適切な情報発信 □避難時に機能する仕組み・体制の構築 ・新しい連絡体制に課題がある。【下林・中林】 ・樋門係から住民への情報伝達の仕組みづくりが必要。【下林・中林】 ・民生委員への防災情報伝達の仕組みを再度周知する(以前の方法と変更がある)。【下林・中林】	□安全な避難路の整備 ・逃げるための道路を拡げる。【温泉町】 □避難所の機能拡充 □緊急避難場所の整備 □適切な情報発信の実施 □全員が避難できる仕組みづくり ・温泉町は何をどうしても浸かる所であり、逃げるしかない。 ・今回経験しおおよそわかるので1日前に逃げる。【温泉町】	 →村山公園への避難路の整備 ・避難先は村山しかない、という意識が皆にあるため、集中して渋滞する。【温泉町】 ・避難地として錦町のイオンの方が良い。【温泉町】 ・皆が安全に避難できるように避難場所をしっかり確保する。【温泉町】 ・地域のことを受け入れるしかない。早く避難するために、早く情報を出してほしい。【温泉町】 ・スポーツパレスから村山までの避難路の拡幅。【下林・中林】 □ 安全な避難場所の整備 □ 防災情報の伝達機能強化 ・上流の降雨量情報も合わせて知らせると、よりインパクトがあり、避難時の判断材料になる。 ・地域のつながりをつくり、連絡体制を確保する。まずは顔見知りになる。【下林・中林】 □ 地域特性を踏まえた地区防災計画、マイ・タイムラインの作成 ・国が出した千年に一度という想定最大規模のハザードマップは恐怖心をあおるだけで、避難ルートも示されていない。 ・市は避難にネックとなる箇所をチェックし管理すべき。道路にはみ出た樹木の管理が不十分。 ・消防団を頼る。高齢者同士の助け合いが難しい。【温泉町】 ・会長をはじめ、誰が誰を避難させるか。助け合いのシステムが必要。【温泉町】
【治水・土砂災害対策】 ・ 今回の水害の根本の 原因は球磨村の渡から 水が押し戻されたことで あり、球磨川の流れに よる被害ではないのでは?	□小河川の氾濫 ・ポンプ場修理に2年かかる。電源も未復旧。 ・福川の堤防が球磨川の堤防より低い。 ・用水路から溢れた。【温泉町】 □球磨川の治水対策 ・昭和40年から5回浸水している。中原小学校に避難した。 ・流木が鉄道橋で堰き止められ錦町、相良村から一気に溢れた。【温泉町】	□小河川の氾濫対策の推進・促進 □流域治水プロジェクトによる本川・支川の水位の低下 ・治山についても決めるべき。伐採後の植林の義務化等。道路を造って山へ上がっているが、道路が川になる。 ・市が負担するのではなく、河道をさらうなど、国にやってもらえることをする。	□小河川の氾濫対策の推進・促進 □流域治水プロジェクトによる本川・支川の水位の低下 ・渡付近にトンネルを掘り、流れをバイパスさせるか、球磨川を3倍に拡げれば、水害に遭わない。60年前に静岡でバイパスを造っている。 ・球磨川の堤防を80 cm~1.5m高くし、河床を掘削し低くする。それでもダメなら、球磨川の流量を他に分け、時間を稼ぐ。 ・溜まった土砂を取り除く。 ・市房ダムの管理状況やデータについて、皆にわかるように公表して欲しい。

・懇談会に来る毎に、お土産の話を持って帰れるようにしてほしい